

連帯よこはま

第40回定期大会宣言

確認された大会宣言

大会宣言

JR 東労組横浜支部は7月26日、横浜市社会福祉センター901・902号室において第40回定期大会を開催し、スローガン、運動方針を含め全組合員で組織強化・拡大を実現していくことを満場一致で確認した。

2025JR 総連春闘で横浜支部は「知らない組合員をつくらない、さらに知った組合員の実践を通じて組織強化拡大を実現しよう！」をスローガンに春闘メッセージ行動と、会社の早期回答による JR 総連春闘破壊を許さず、横浜地本春闘集会に参加し問題意識を高めてきた。要求満額を勝ち取ることはできなかったものの、全組合員に当たりきることにより、春闘集会に組合員の半数を結集させてきた教訓的な実践により横浜信号通信技術センター分会において1名の再加入が実現した。最大の教訓は、職場からの献身的な未加入者への投げかけにより、私たちの運動が浸透し、当人の決意に繋がったことである。この教訓を我がものとして、更なる組織拡大を実現していこう。

「JR 東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」が提案された。職場ではこれまでにない大きな提案に疑問や不安の声が相次いでいる。これに対して横浜支部独自で意見交換会を複数回開催し、社友会にはできない系統を超えた議論をつくり出してきた。「競争型年功賃金」とも言うべき評価制の人事・賃金制度が導入されようとしている。過度な競争を職場に持ち込み、安全を脅かすものは反対である。

横浜地本の「定期昇給を軸とした新たな格差と分断、不利益変更反対！安全・健康・生活を守るため、全組合員でたたかおう！」のスローガンの下、会社の狙いを明らかにして、騙されない・諦めない組合員づくりを職場で展開していこう。

JR 東日本の信頼を揺るがす事故・事象が後を絶たない。2度も発生させた新幹線列車分離、山手線複数車両でのパンタグラフ故障、グループ会社の人件費水増し請求。そして山形新幹線用新型車両 E8 系で立て続けに発生した車両故障。このような頻発する事象に新聞やテレビ、SNS 上では不安の声が相次いでいる。そのような状況の中で来年横浜線のワンマン化が始まろうとしている。南武線ワンマン化で浮かび上がった数々の問題と課題、行き過ぎた効率化施策に対するチェック機能を果たせるのは JR 東労組でしかない。「命と安全」を最大の価値基軸として、「安全・健康・ゆとり」のある職場をつくり出すために、組合員・未加入者と議論し、JR 東労組への結集を呼びかけ、過半数代表者選の勝利を実現しよう。

「被害者が加害者とされた！JR 東日本武蔵小金井駅暴行事件」の裁判闘争がスタートした。会社は、A さんを不良社員として仕立て上げ、管理者の暴行はなかったことにし、事実の改ざん・隠蔽を図ってきている。あったことをなかったことにする経営姿勢を許してしまえば、安心して働くことはできない。横浜支部は「知らない組合員をつくり出さない」を合言葉に総対話を通じて組合員全員の認識の一致を図ってきた。健全な JR 東日本会社をつくり出すために常に職場から議論する場をつくりだし、組合員・未加入者問わず議論をつくりだそう、そして社友会からの離脱を促していこうではないか。

参議院選挙が終わったいま自公連立政権が揺らぎつつある。いまこそ働く者が団結の旗のもとに結集し「抵抗とヒューマニズム」の精神で、JR 東労組に賛同する横浜地本推薦議員等懇談会と全ての仲間とともに、平和で安心して暮らせる社会を実現するために行動していこう！

以上、宣言する。

2025 年 7 月 26 日

東日本旅客鉄道労働組合
横浜支部第 40 回定期大会